

前回までの整理と試験実施の要件について

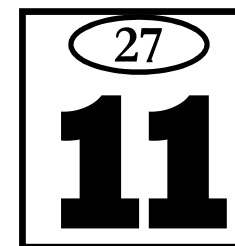
1. 前回までの整理

第2回検討会では、アンケートに提案されたデザイン案を以下の3要素として整理し、この3要素について視認性試験を実施することとした。

(例)

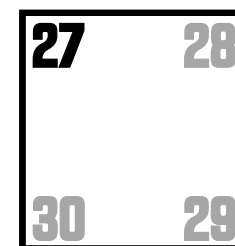
○文字の要素

- ・月表示の文字フォントを太くする。



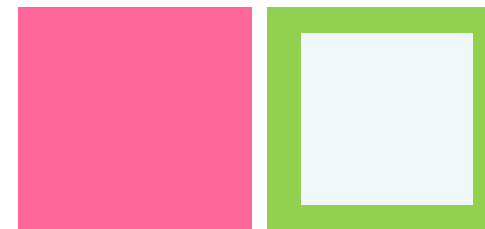
○数字の表示位置による識別の要素

- ・年表示を数字の表示位置で識別する。



○台紙等の色による識別の要素

- ・年表示を台紙の色で識別する。
- ・年表示を透明フィルムの色で識別する。



2. 試験実施の要件について

今検討会において、以下の項目について事務局より視認性試験の実施方法を提案することと整理された。

・視認性試験の実施方法についての策定

アンケートの結果を踏まえて視認性試験の実施方法を策定する。なお、試験条件については、以下の項目を含み試験方法を提案する。

- ①視認距離(3mと5mで実施)
- ②デザイン(デザインはP2の3類型を含む)
- ③大きさ(軽自動車のもと同じ大きさの40mm×40mmとする。)
- ④その他(年齢等、その他の要素についても必要性を検討し次回検討会で示すものとする。)

3. 行政上必要な要件について

検査標章に必要な情報は、自動車検査証の有効期間の満了する年月の情報を記載する。有効期間の満了する年月は、一般の方が識別できるよう配慮するものとする。例えば、年表示を記号や色で表した場合でも、容易に識別できるように年を数字で補足的に記載する等。